

鉾田町商工会青年部会報



微明

No.16 平成5年度版

発行日 平成6年3月31日

編集 鉾田町商工会青年部

広報委員会

発行者 鉾田町商工会青年部

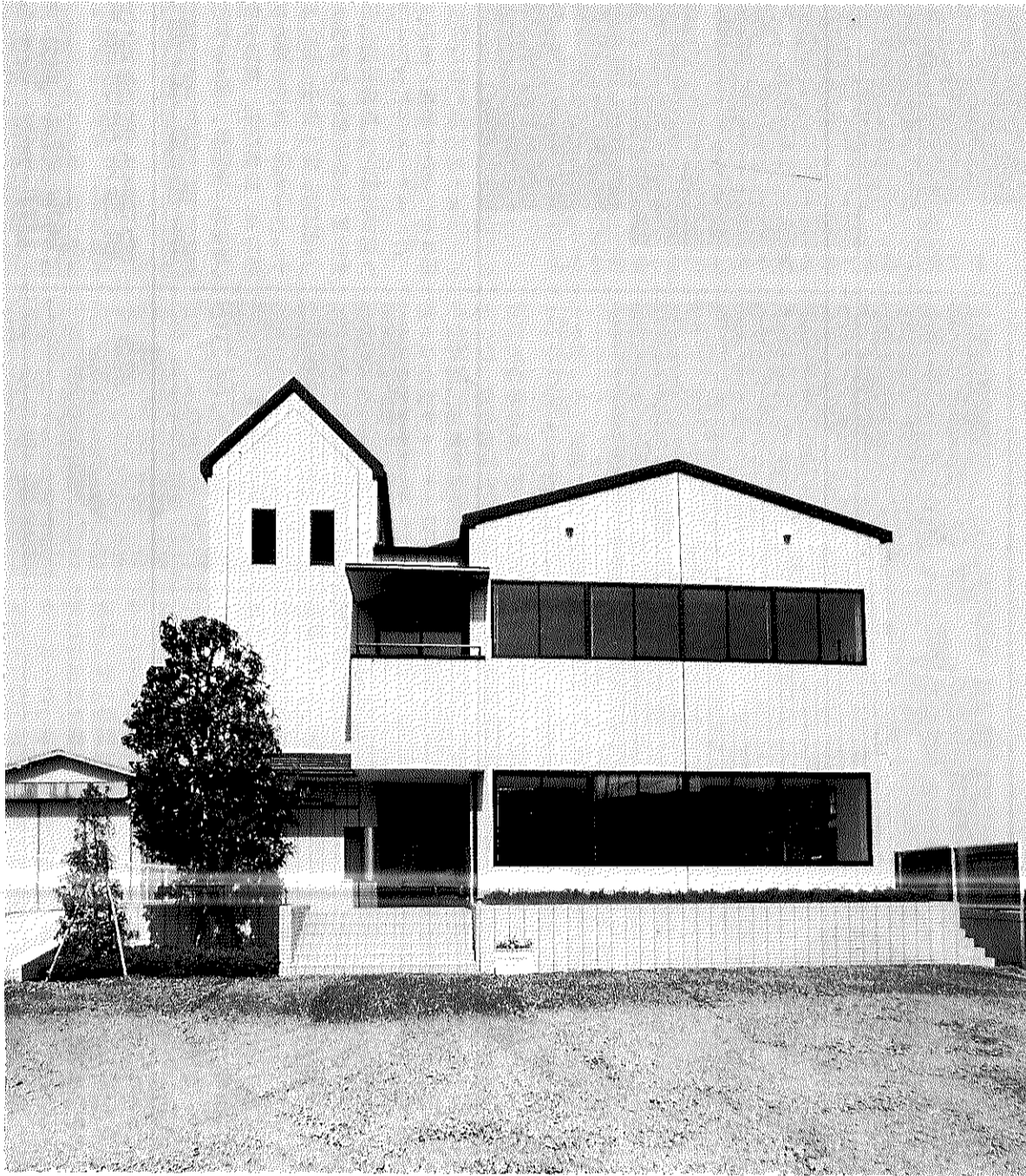
部長 土子 勇一

〒311-15 鉾田町大字鉾田2476番地

TEL 0291-2-2246

びめい(微明)とは

引き締めようと思うなら、しばらく
拡張させておくに限る。弱めようと思
うなら、しばらく与えておくに限る。
この道理を知る事を「微明」という。
柔弱は剛強に勝つものなのである。
(老子より)



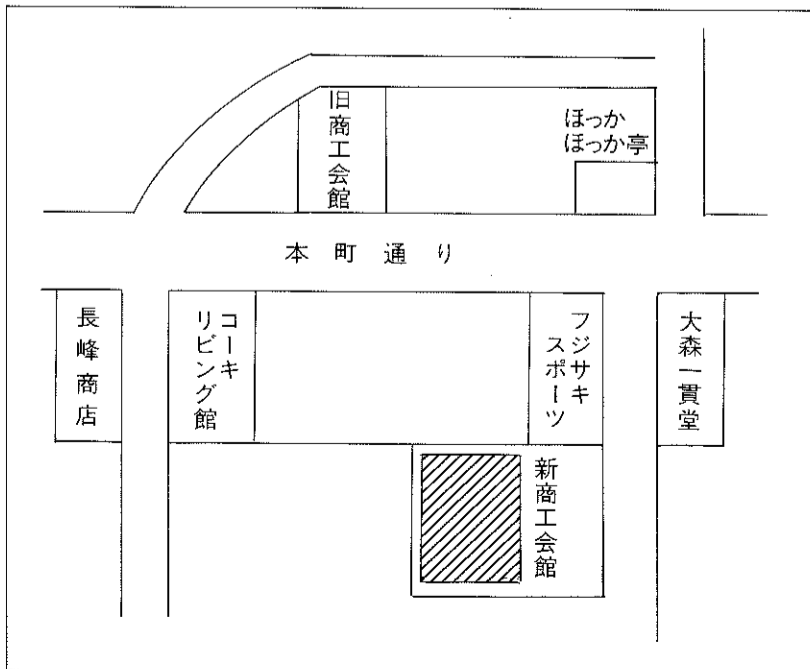
新商工会館竣工す!!

さる一月に起工された商工会館新築工事も最後の追い込みに入り
り来年度早々には立派な大会議室や青年部研修室等の諸設備を備え
た新会館が竣工の運びとなる。

商工会青年部も来年度は三〇周年を迎えともにおめでたいかぎりです。

「竣工が期待される 新商工会館」

新会館は多くの商工会員の
浄財と補助金によって旧本町
商店街近代化駐車場に、工費
約一億円、総二階建、延床面積
五八九㎡、一階、エントラン
スホール、事務室、第一・第
二相談室、記帳指導室、資料室、
小会議室、給湯室、男女トイレ、
二階には大会議室、青年部研
修室、婦人部研修室、給湯室、
男女トイレの諸室、諸設備が
配置された、すばらしい商工
会館が竣工を間近かにひかえ
て、商工会も益々円滑に運営
され御客様を迎える環境も大
変良くなると思えます。業務
の効率化もはかられ、指導や
相談にも充分応じられると思
います。皆さん新しい商工会
をどんどん利用しちゃいまし
よう。

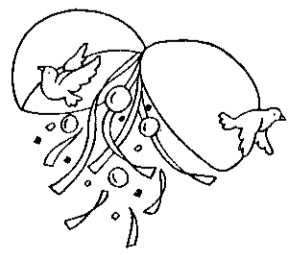


「びめい発刊にあたり」



部長 土子 勇一

この度、青年部広報紙「び
めい」発刊にあたり、部員諸
君、並びに商工会員の皆様に
は、大変な景気低迷の中、そ
れぞれの家業、事業に邁進さ
れていることと存じます。私
供商工会青年部も皆様の多大
な協力を得て、5年10月には
新町通りにおいて歩行者天国
「ほこたフェスティバル'93」、
6年2月には総合公園にて前
日の大雪と云うコンディション
の悪さを克服して、「第5回
ほこた颯揚大会」、等を実施
し大竹海岸の清掃、新鉾田駅
周辺のクリーン作戦、アクテ
イプフェア等の事業に協力、
参加致しました。又、春にハ
イキング、冬にスキーバスと
一般の参加を求め、地域の振
興と親睦の一端を担うべく、
数多くの事業を実行し、参画
してまいりました。私供青年
部員も、自己を研鑽する為、
例会等の場を利用して講演・
講習会・3分間スピーチをお
こなっております。
青年部も次年度は、いよいよ
30周年を迎え、記念行事や
記念事業が日程に登って来て
います。事業に多少の影響も
あろうかと思えますが、「商
工会青年部」そのものも現在
曲がり角を迎えつつあり、30
周年を期して、静かに「青年
部の今後の在り方」や事業内
容等を見つめ直し、青年部の
リストラクチャリングを為し
遂げる事が、将来に互り青年
部を活性化することと確信し
ております。
発刊の辞に代えて御報告さ
せていただきます。



青年部行事報告

4/22平成五年度通常総会開催

平成五年度通常総会は、平成五年四月二十二日、夜七時よりホテルさわやにおいて開催されました。

新役員紹介

平成五年度事業報告などの議案が承認され、役員改選にあたり、新役員が選出されました。また、総会に先立ち四年度卒業の、真家吉市、渡辺佳夫、本沢徹、小野瀬正美の四氏に感謝状が贈られました。



新役員に選出された皆さん

教育委員会

皆さんに参加してもらいたい

委員長 中根 一樹
私はこの青年部活動の中に、

もつと自己啓発の場が多くもてれば、と思つてこの一年をやつて来ました。まず、教育研修委員会の大きな行事としての講演会を、七月、十二月、二月と三回行いました。

一回目は、元全青連副会長をしてもらった笠間茂治氏に、「地域活性化とイベント」と題して、氏の青年部活動を中心にお話しを聞きました。二回目はこちらまた若い浜田幸一

親睦委員会



ふれあい...ですか!?

委員長 大和田裕之
私の委員会の、紹介を致します。

七月に滝浜海岸にて地引き網・バーベキューを、部員とその家族、友達を対象に行いました。この日は天気が悪く地引き網はカットして、バーベキューと、子供達の為にスイカ割りや、宝探しゲームを参加してくれた人もいて大変



バーベキューの一幕

氏に、「若さを活かして事業を伸ばす」として、お客様に對しての自己の心構えや、アピールの仕方等を勉強しました。三回目は、橋本美佐子先生をお招きして、「スタイリッシュな感覚」についてお話しを頂き、皆さんに大変な反響を頂きました。御三方とも講演終了後に懇親会をもうけ、打ち解けた話しをする事が出来ました。これらの講演会に於いて、出来るだけ多くの部員に参加してもらつて、自分自身に一つでも得る所があつて、増々の商売繁盛の一助に活かしてもらえればと思つています。また、前委員長の山口君より引き続き、KJ法の手

メインに行っていました。親子が一体となって一日を楽しくすごしていた様で、お父さん達は、短い時間で最高の家族サービスが出来たろうと思つていました。又、バーベキューはシエフが良いのか、材料が良いのか、かなりの好評でした。初めてのころみとして、不安もあつたのですが皆さんの御協力により大成功に終わりました。

十一月には、ボーリング大会を、ヤングボールにて三十名の参加者で、行いました。今回で二回目となり、かなりの人がプロ顔負けのウチで競い合つて、緊張した大会でした。中には、個性を生かし楽しく参加してくれた人もいて大変

地域振興委員会



満足いく一年だった

委員長 岡里 剛治
私達の委員会は、年に二回の行事が有ります。

六月には、ハイキングを行いました。筑波山に行つて来ました。朝から天候が悪く、山頂に霧がかかつていて見通しも悪く、おまけに帰りにはなんと強風の為、ロープウェイが動かさず歩いて降りて来ました。いやーとんでもなかったです。筑波山だからと言つてバカには出来ないと思つていました。反省会では、絶対に文句を言われると覚悟していたのですが、意外や意外、こんな体験は滅多に出来ないのいい思い出になつたと、皆さん言つてくれたので「ホッ」としました。もう一つの行事は、三月六

日に行われたスキーバスツアーで、会津高杖スキー場へ夜行日帰りで行つて来ました。

当初は、四十名の募集でしたが、倍の八十名と応募が殺到、青年部の歴史に残るスキーバスになりました。八十人なんて無理じゃないのかと、心配して先遣達もいましたが、何んとかなると思つたバス二台で決行しました。

スキー場は、天候にも恵まれ、日曜日と言うのにそれほど混雑もせず、短い時間を皆さん楽しんでくれた様でした。何よりも大した怪我人もなく無事帰つてくれた事が、一番の収穫だつたと思つています。一年間を振り返つて、協力してくれた部員のおかげでここまでやつてこれたのだと思つています。反省は有りますが、これをふまえて残りの一年も頑張ろうと思つています。



会津高杖スキー場にて

平成五年度 青年部行事一覽

4/22	平成五年度通常総会
5/30	グリーンロード清掃協力 (新銚田周辺)
6/2	鹿行地区商工会青年部ゴルフ大会 (神栖町)
6/8	親睦野球(対茨城町商工会青年部)
6/11	親睦野球(対大洗町商工会青年部)
6/13	筑波山ハイキング
6/23	親睦野球(対北浦村商工会青年部)
7/6	親睦野球(対旭村商工会青年部)
7/11	大竹海岸清掃キャンペーン
7/14	親睦野球(対大洋村商工会青年部)
7/18	地曳綱(青年部員と家族との親睦会)
7/19	講演会(講師笠間茂治氏)
8/17	鹿行地区商工会青年部野球大会 (麻生町)
8/20	講演会(講師銚田警察署長)
9/7	「高速道路の走り方」ホテルさわや 茨城県商工会青年部ゴルフ大会 (岩井市)
9/17	近隣五町村ソフトボール交流試合 並びに交歓会(大野村)
10/3	ほこたフェスティバル ⁹³ (銚田町新町通り)
10/24	アクティブフェア (銚田町総合公園)
11/10	親睦ゴルフ大会 (対常陸太田市商工会青年部)
11/15	講演会(講師浜田幸一氏)
12/5	「若さを活かして事業を伸ばす」 親睦ボーリング大会(ヤングボール)
12/19	青年部忘年会 (磯一)
12/22	鹿行地区商工会青年部 親睦ボーリング大会(潮来町)
1/23	親睦ボーリング大会(山梨県石和町)
2/13	第五回ほこた風揚大会 (銚田総合公園)
2/21	講演会(講師 橋本美佐子氏)
3/6	「経営者のためのイメージアップ」 スキーバスツアー ⁹³ (会津高杖スキー場)
3/11	青年農業経営者協議会との交流会 (ニュー麻生)
3/28	ほこたさくら祭り協力



雪上で凧揚げを楽しむ参加者

＝凧・白銀に舞う＝

第5回 ほこた 凧揚大会

手作り凧で参加

平成六年二月十三日、鉾田町総合公園グラウンドに於いて第五回ほこた凧揚大会が行なわれました。この企画は、「凧を飛ばそう大空へ・遺産の伝承と明日への飛翔」をスローガンに今回で五回目、参加者は、自宅や学校、事業所で作成した手作り凧で参加、色鮮やかに描かれた六角凧、やっこ凧、大凧など三百二十の凧が大空を駆け巡りました。

前日は、日本中が大雪に見舞われて、当日の道はアイスバーン、今回参加予定であった町外者はほとんどキャンセル、参加者は半数になりました。凧揚大会となりました。



凧の会会長(石山氏)の説明を聞く参加者

しかし、当日は前日と違って変わっての快晴、凧揚げ日和となり、参加者は雪の上で思い思いに凧を揚げていました。

昼休みには商工会婦人部の皆さんの協力により、とん汁が配布され、冷えた体を温ためながら、おいしそうに食べておりました。

入賞者は次の通り(敬称略)

▽県知事賞 田口貴康▽鹿行総合事務所賞 二重作敏晃▽茨城新聞社長賞 田口健太郎▽鉾田町教育長賞 松本美咲▽大会長賞 栗林美由紀



地上審査を行う審査委員

永井晶子▽常陸凧の会長賞 石崎てる美

▽少年の部) 大原正幸▽鹿行総合事務所賞 小沼大輔▽茨城新聞社長賞 小松崎ひとみ▽鉾田町商工会賞 久野遼太▽大会長賞 郡司雄太・梶山亮一▽常陸凧の会長賞 白田麻衣

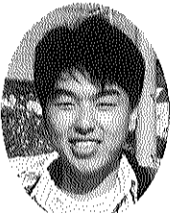
▽一般の部) 高橋昭久▽鉾田町賞 藤沼勝次▽鉾田警察署賞 大石隆

▽団体の部) のんき会▽県議会議長賞 のんき会▽鉾田町賞 新官スポーツ少年団▽鉾田町議会議長賞 鉾田青年会議所



みごと団体の部で優勝!のんき会の凧

野球部主将抱負を語る!!



久保田 豊

平成六年度より、野球部主将をやらせて頂く事になりました。久保田豊です。

本年は、昨年の予敗退と言った結果で得た反省点を生かし、鹿行地区予選を突破、県大会決勝まで進出したいと思っております。頑張りましょう。

本年の野球部活動としては、鉾田町の大会(まだ予定の段階ではあります)に、商工会青年部として参加しますので、平・土・日ともに試合があり前年度より集って頂く日が多くなると思っています。

野球は九人以下では行なえないスポーツですので、一人でも欠けると試合どころか、練習又は勝利して行く事も出来ません。青年部の皆様にお願いします。根っからの勝負士とおみうけます。負けることが嫌なはず。一

人でも多くの参加と意気込みを期待していますので、大変だとは思いますが、よろしく御願いいたします。

タイ・プーケットの旅

副部長 川島 利市



去年行って来た、タイ旅行の話です。

プーケットで三日間滞在し、バンガー湾めぐり・灼熱の中でのゴルフを体験しました。そして、プーケットからバンコクへ向かい、世界屈指のホテルである「オリエンタルホテル」に三日間宿泊しました。次の日、このホテルが所有す

創立三十周年に「優勝」と言う、一つの大きな花が加われば、それがあなたのいい・と・ころ!!



今年こそは優勝するぞ!!

「人は、みな泣きながら生まれてくる」

副部長 松本 茂雄



10/24 アクティブフェア

鉾田町主催「アクティブフェア」は、十月二十四日鉾田町総合公園に於いて行なわれ、青年部は、売店・ビンゴゲーム・遊戯物コーナー(チビッコバギーカー・スーパーストック・ハンマーゴング)など幅広く協力しました。

売店は、やさそば、ケーキ&コーヒーセット、おにぎり、缶ジュースを販売、行列が出るほどの盛況ぶりでした。



売店は一日中大にぎわい

青年部?

副部長 渡辺 義信



副部長になって、土子部長を補佐して働かなくてはならないのに、逆に部長に気を使わせてしまった。まだまだ副部長としての自覚が足りないな、と思っております。

さて、来年度はいよいよ新築成った商工会館で青年部が30周年を迎えます。現在、商工会青年部、あるいは商工会青年部活動は過渡期又は曲がり角に来ていると思っております。地域の存在、組織として

これは、シェークスピアの「リア王」にでてくる台詞で、決して明るい喜ばしいものではないのである。なぜかとす。私が、この言葉を知ったのは、鉾田中央公民館開館20周年記念講演、五木寛之「こころの風景」文化講演会であった。私は、本年度より恥ずかしながら商業者を代表して、公民館運営審議会のメンバーとなり、公民館活動を審議する立場になりました。そしてこの文化講演会を聴くことになりました。

五木寛之氏は、学生時代よりファン(私の暗い性格は、彼の影響大である)で、会えなかったが、講演自体はそれほど期待していませんでした。しかし、感動した。もう少しで、自信を持って生きていくという勇気が湧いてくる講演でした。一番心に残った言葉が「人は、みな泣きながら生まれてくる」という台詞だった。「リア王」の登場人物が考える人間の誕生は、くべきである。と思えました。

の在り方、(年令構成・新入部員確保・参加出席等々)、催事についての見直し、その他いろいろあると思っております。

現状は、部員の情熱と人手でなんとか、諸先輩から受け継いだ流れを維持出来ていますが、30周年を期に、全体を再構築し直して、青年部員それぞれ個人が初心に帰って、鉾田町商工会青年部を盛り立てて行かなくては、若年人口が減少してゆくなかで、更に40周年、50周年を迎えることはむずかしいのではと考えるところではあります。

30周年の節目のときを迎えて、自分自身を振りかえり、皆と将来に向っての青年部を考え、話し合っていくべきだと思います。益々、補佐する立場の一人として責任を痛感し、思いを新たにしております。

平成5年10月3日

「ほこたフェスティバル'93」

— 新町通りを歩行者天国に —

「晴天の中 二万人の人出」

10月3日(日)開催された商工会青年部主催による「ほこたフェスティバル'93」は、新町通りを歩行者天国にして行なわれ、天候にも恵まれ約二万人が、多彩な催事を楽しんだ。



テープカット(右より渡辺商工会長、小室町長、松田警察署長)



毎回人気のファファ

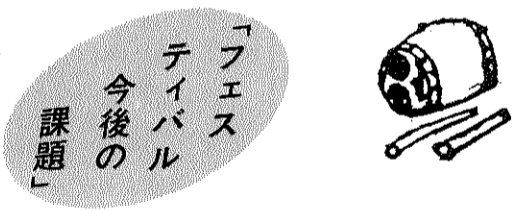
オープニングは、小室銚田町長、松田警察署長、渡辺商工会長によるテープカット。今年も、町の生活環境課やロータリークラブ、商工会婦人部等の各種団体の協力を得て、にぎやかな祭りとなりました。模擬店コーナーや催事によるテープカットも行われました。

カット。続いてミス銚田を先頭に、銚田二高バンド部、銚田小マーチングバンドによる交通安全パレード。また青年部も交じっての神輿パレードもホコ天内をねり歩きスタートから会場内を盛り上げました。



鷺鷥会の協力で神輿オープニングパレード「ワッショイ/ワッショイ」

のもあって、終日子供から大人まで楽しんでおりました。



記帳専任職員(青年部担当) 小宮比佐志

ニューフェイス

私が青年部担当になって一年が過ぎようとしています。青年部の皆様には、この一年いろいろ御迷惑をかけたことが、社会人として学び得る事も多く、とても感謝しています。最初は、年上の方ばかり

「青年部担当になって」

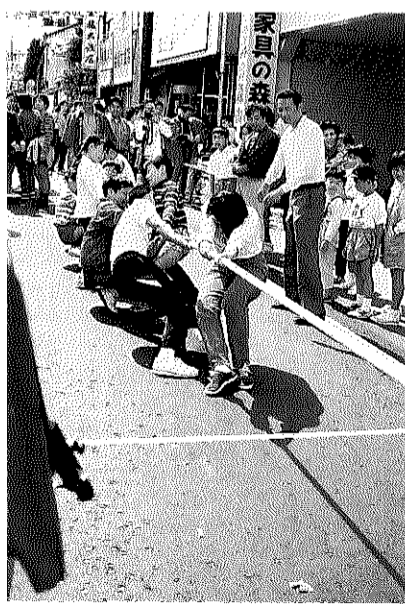
で戸惑っていましたが、部長をはじめ部員一人一人が気軽に話しかけてくれたので、安心して接する事ができました。私にとって、青年部という存在は、とても馴染みやすい環境だと思えます。

血液型 O型
住所 銚田町畑田
趣味 ドライブ
職務 記帳専任職員



各商店もワゴンセールで盛り上げた

「継続は力なり」を合言葉に開催されてきたほこたフェスティバル。継続とはある意味でマンネリとの闘いであり、なれとの闘いでもある。青年部内でも参加部員の減少や、催事自体のマンネリなど、問題も少なくない。パイ



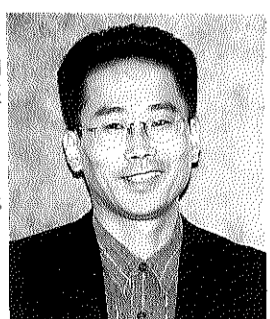
綱引きは、毎回盛り上がる

ど、問題も少なくない。パイパスも開通し、銚田町の商業について、銚田の商業について考える時期にきている。



左より、戸田 隆、伊東光一、木村貞夫卒業生の各氏

卒業 おめでとうございます



大切なのは「やる気」
戸田 隆

もう、卒業部員になってしまいました。まだまだ青年のつもりでいたのですが、そうそう今、私は厄年真っ只中なのです。やはりそつぎ、うです。長い間大変お世話になりました。その中には四期連続、八年間副部長という経験もさせて頂き思い出深いものが多々あります。ありがとうございます。青年部に感じる事は行事や

今年度6名の方が卒業されました。今後の御活躍を期待いたします。

- ・ 伊東 光一 (伊東時計店)
- ・ 木村 貞夫 (木村陶器店)
- ・ 富田 稔 (巴川電気工事)
- ・ 戸田 隆 (ユア・シセイ ドウ戸田)
- ・ 本沢 裕夫 (本沢石油店)
- ・ 持丸 節夫 (持丸保険サ-ビスセンター)

編集後記

来年度三十周年という、大イベントを目前にし、何かと忙しい時期に来て、今回の年刊びのみの発行にあたり、皆様からの原稿がなかなか出来上って来ませんでした。いつになったら年刊びのみの出せるとか冷汗物でしたが、なんとか発行にこぎつける事が出来ました。皆様の御協力に感謝致します。(俊)